

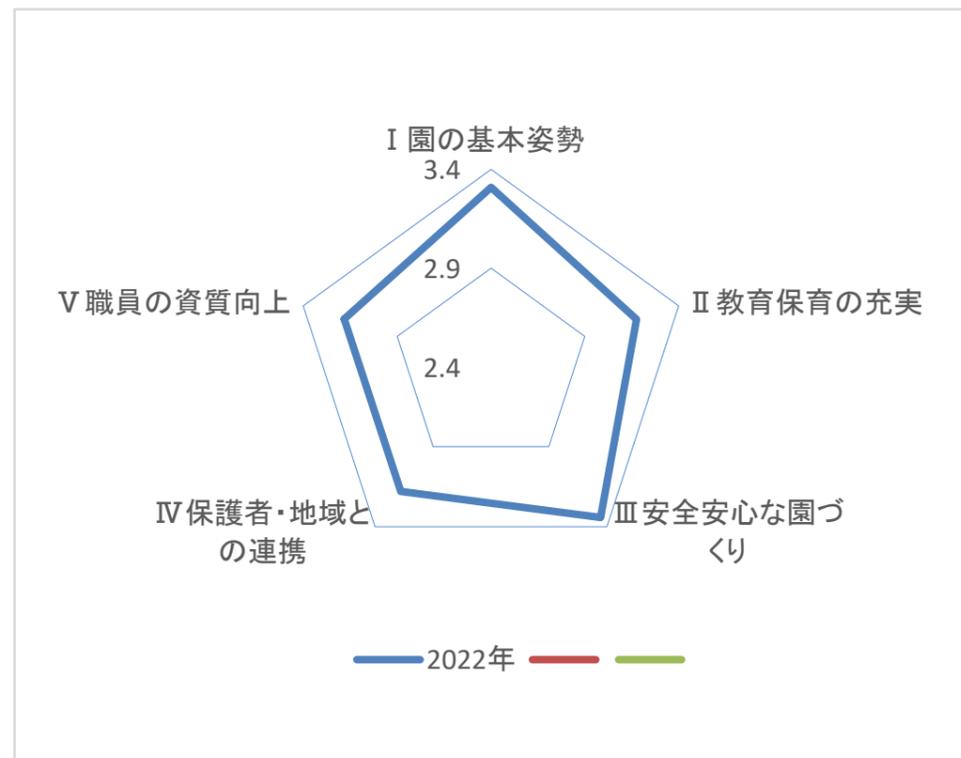
令和4年度 認定こども園ふじキンダー学園 自己評価結果

＜評価＞ 集計数29人

十分理解できている(十分できている)…◎4点 理解している(できている)…○3点 ふつう…▲2点 努力が必要…×1点

評 価	2023/1/10)			
	◎	○	▲	×
I 園の基本姿勢(5項目)	105	171	51	3
II 教育保育の充実(7項目)	313	607	230	4
III 安全安心な園づくり(5項目)	222	598	161	8
IV 保護者・地域との連携(5項目)	137	372	141	10
V 職員の資質向上(8項目)	33	71	53	8

自己評価開始7年目となり、評価項目を見直し、園づくりの柱を「園の基本姿勢」「教育保育の充実」「安全安心な園づくり」「保護者・地域との連携」「職員の資質向上」とした。今年度目指した「教育保育の充実」を具現化したテーマ保育、全国的に課題となっている「職員の資質向上」などについて、重点的に評価を行った。どの項目も3以上の評価を得たが、感染下において、保護者・地域との連携が十分でなかったという評価があがった。年間計画を見直し、日常的な情報共有を工夫するなど、課題に沿って取り組みを充実させていく。



I【園の基本姿勢について】

園の教育・保育の理念、方針を理解し、「教育・保育の充実」「安全・安心な園づくり」「保護者・地域との連携」「職員の資質向上」に向けてどの項目にも意欲的に取り組んだ。特に安全教育や新型コロナウイルス対応、園児への人権に配慮した対応については取り組みへの評価は高かった。反面、保護者・地域との連携については行事・活動の制限もあり、十分に達成されていないという評価が今年度もあった。今後の状況変化に沿って、園行事を見直し、保護者、地域との連携を進めていきたい。また、園児の人権尊重に十分配慮した教育、保育を更に高めていく。

II【教育・保育の充実】

園児の発達に対する意識がより高まり、一人一人への対応を大切にしている。特に、園児の思いを大切に、表出できる環境を大切に、人のかかわり方を丁寧に伝えてきた。一方で、生活な中での表現活動、文字や数への取り組み、自然との触れ合いについては若干評価が低かった。行事への取り組みとともに、今年度から実践しているテーマ保育を充実し、日常生活や遊びの中での気づきや学びについて見直し、実践と評価の一体化を図る。

III【安全・安心な園づくり】

安全・安心な園づくりへの意識が高く、園児の健康、発達への対応、安全な環境維持、関係機関との連携などの取組について評価が高かった。園を取り巻く環境は日ごと変化しており、その都度対応を進めていくように、今後も園全体で共通理解のもと取り組みたい。同時に、家庭と連携していくように、根拠の分かる説明を丁寧に、理解協力を求めていく。

IV【保護者・地域との連携】

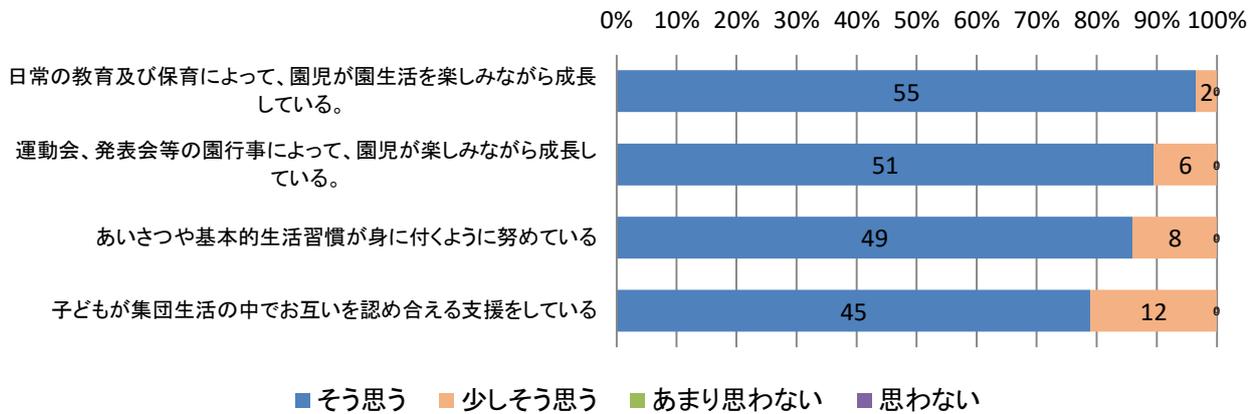
新型コロナウイルス感染対応下、行事の制限などがあつたが、園として工夫しながら実施してきたことや、乳児幼児の教育・保育が学校教育につながることで、園だより等で家庭や地域に情報を提供することなどについては高評価であった。半面、保護者との相互理解や家庭支援については更に丁寧に取り組んでいきたいという評価を得た。次年度は、保護者との連絡、行事の参加等について、新しいシステムを取り入れながら、より細やかに対応できるようにしていく。

V【職員の資質向上】

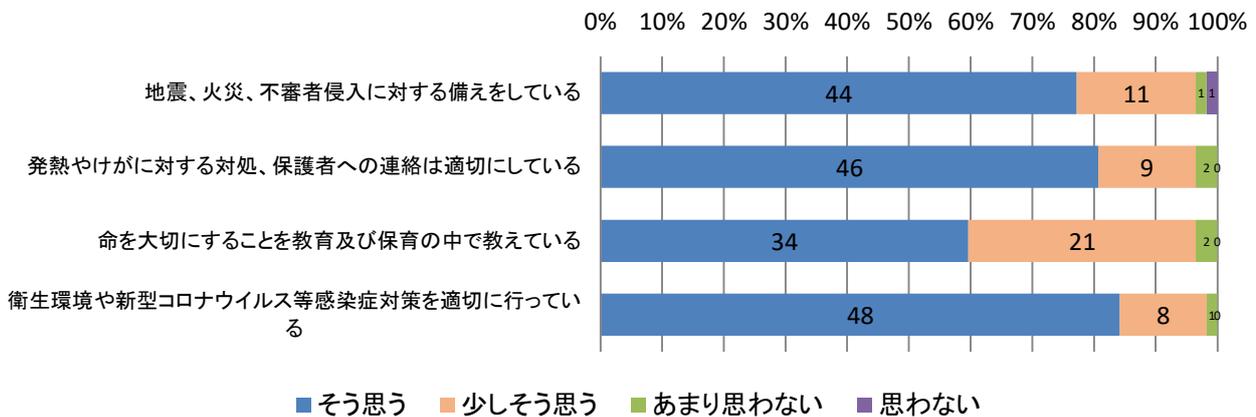
園児一人一人の人格を尊重し、教育・保育に真摯に向き合い取り組んできたが「不適切保育」についての研修をもとに、全職員で改めて日々の教育・保育を振り返る機会を得た。キンダー学園が目指す教育・保育を共通理解し、家庭、地域と連携して取り組むよう、今回自己評価が低かった「自己が成長するための基本である研修」を積極的に取り入れていく。

乳児部

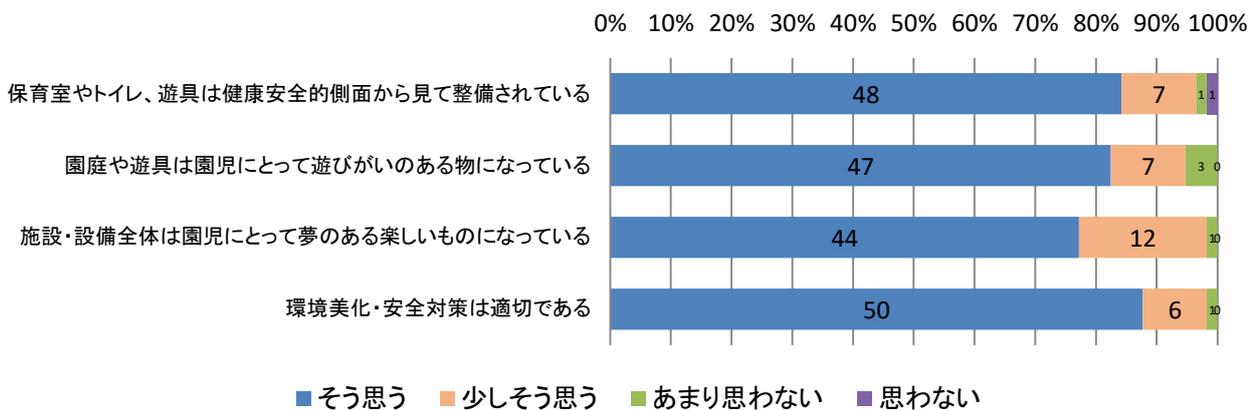
I 本園の教育及び保育について



II 本園の防災・安全・生命尊重について

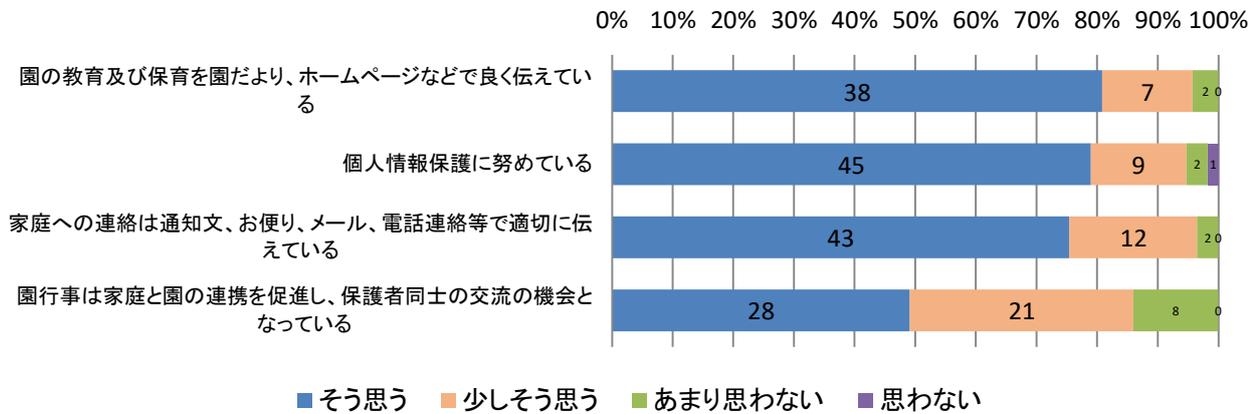


III 本園の設備・環境について

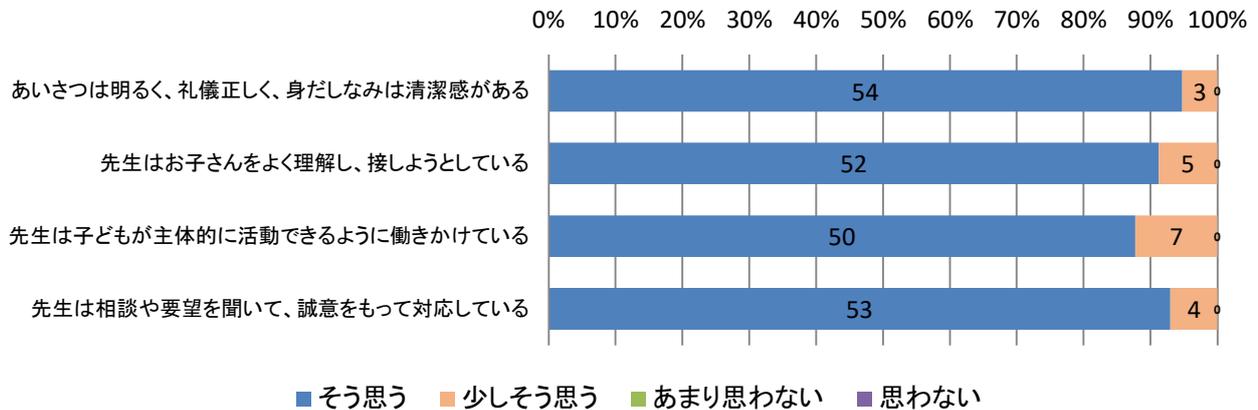


乳児部

IV 家庭との連携・情報提供について

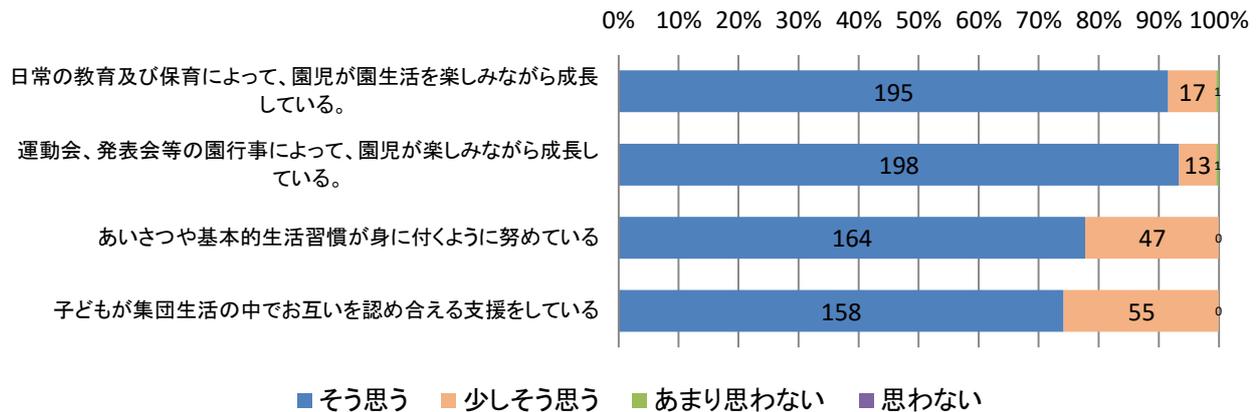


V 職員の在り方について

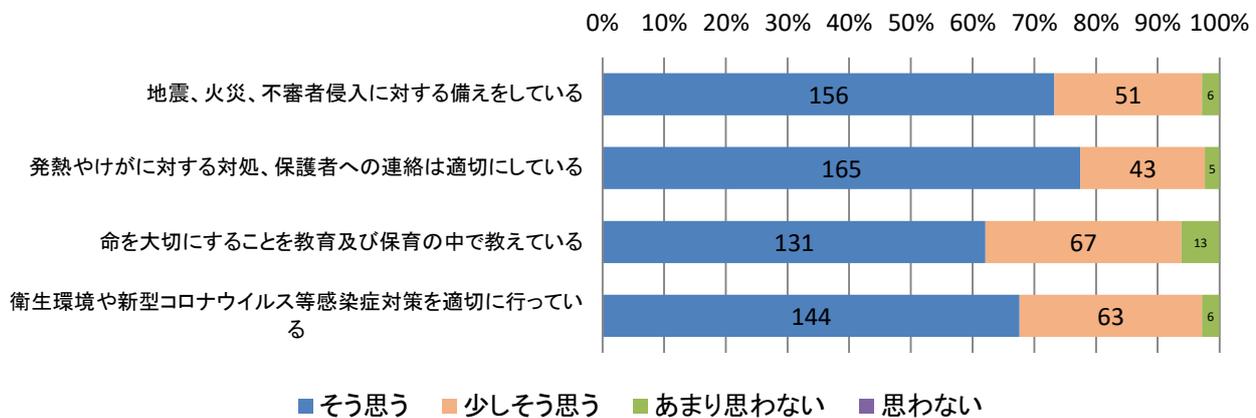


幼児部集計

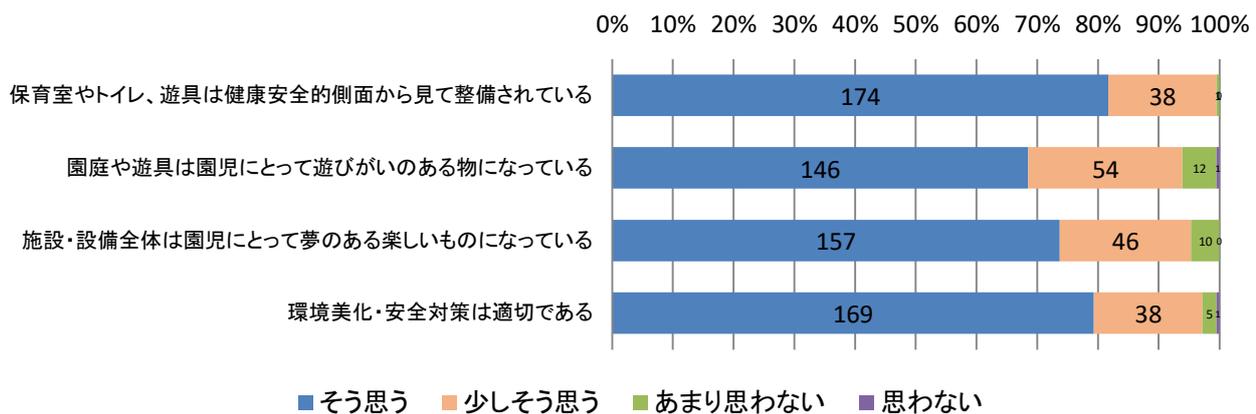
I 本園の教育及び保育について



II 本園の防災・安全・生命尊重について

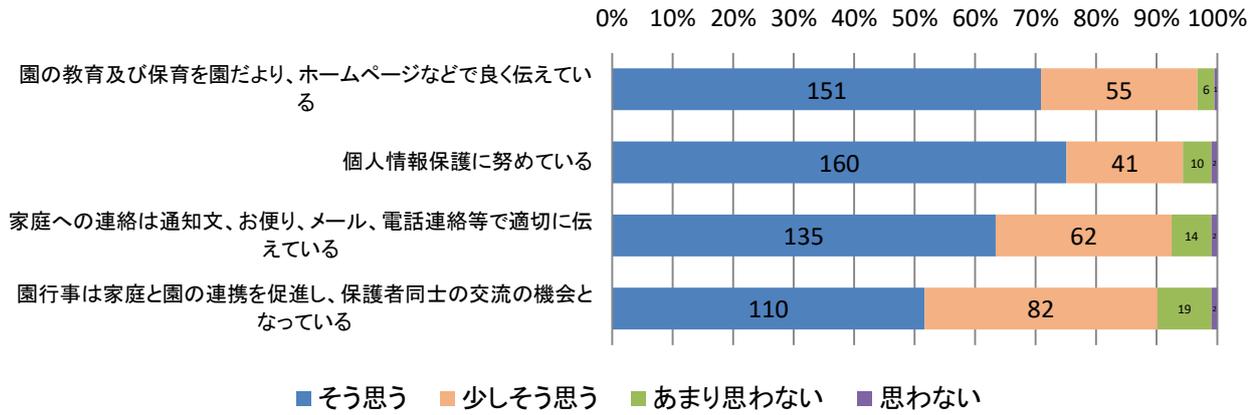


III 本園の設備・環境について



幼児部集計

IV 家庭との連携・情報提供について



V 職員の在り方について

